

① Earth hacks



自分にも、周りにも、地球にも意外とアリな“新しい選択肢”



Earth hacks



Earth hacks デカボスコア勉強会

2025年 5 月



① 会社名：Earth hacks株式会社

① 事業内容：

環境に配慮した商品又はサービスの

①CO2排出削減量の計算/デカボスコア提供

②マーケティング支援

③EC運営・販売

④見本市やイベント開催

⑤新規共創支援 等

① 出資比率：三井物産 50%, 博報堂 50%

① 設立日：2023年5月16日

デ カ ボ
脱炭素を価値に。

生活者がどれだけ脱炭素ライフをおくりたくても、適した商品・サービスがなければ実現できない。

企業がいくら脱炭素を推進しても、生活者がそれを魅力に思わなければ、経済はまわらない。

わたしたち『Earth hacks & Co.』は、生活者のアクションと、企業の努力をつなぎ、

「脱炭素化した方が商品が売れる。商品が売れるから脱炭素化が進む。」好循環を生み出し、

持続可能な社会を実現するデカボ・サイクル・カンパニーです。

① Earth hacks & Co.

① Earth hacks & Co.

欲望を入り口に脱炭素を価値化し、企業と生活者を繋ぐ

①欲望point

%off による「楽/得」

わかりやすく行動しやすい
CO2削減率の可視化/活用

デカボスコア



デカボ

脱炭素を価値に。

① Earth hacks & Co.

②欲望point

推し による「応援」

欲望を軸にしたアプローチで
生活者/社員をファン化

あなたは〇〇トッ！？

デカボmyスコア



③欲望point

就活を軸とした「出会い」

Z世代×企業の
コミュニティ創出/活用



④欲望point

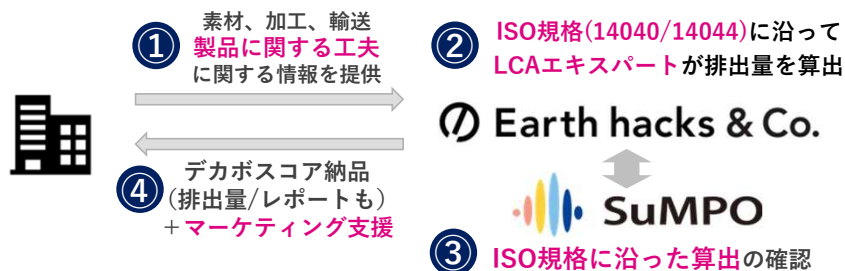
新規性 による「露出」

メディア連携で
効果的露出

「●●%off」という身近で欲望を刺激しやすい新指標

③デカボスコア導入例

様々な環境取り組みをデカボスコアでスコア化



約250社950アイテムにてデカボスコア化※25年4月時点



CFPについて

ガイドライン

カーボンフットプリント ガイドライン

2023 年 5 月

経済産業省、環境省

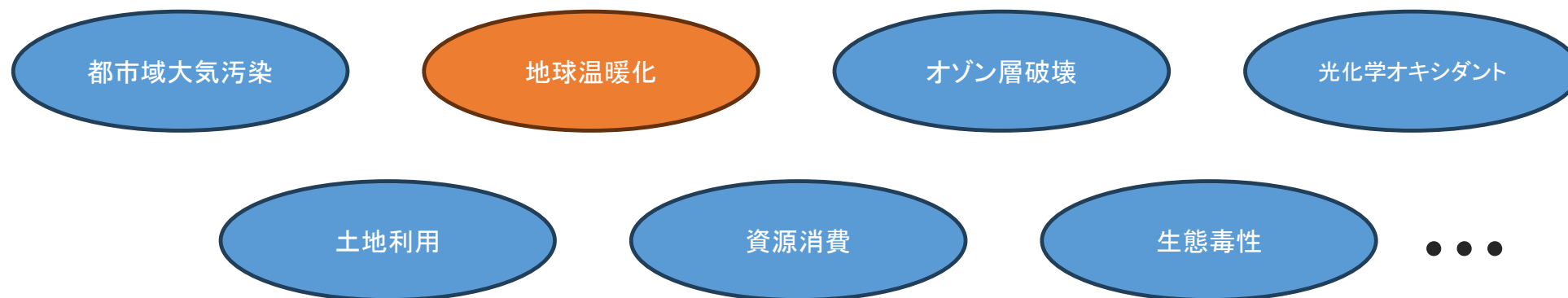


LCAとは？

LCAとは、Life Cycle Assessment の略

ライフサイクルにおける環境負荷を定量的に算出・評価する手法

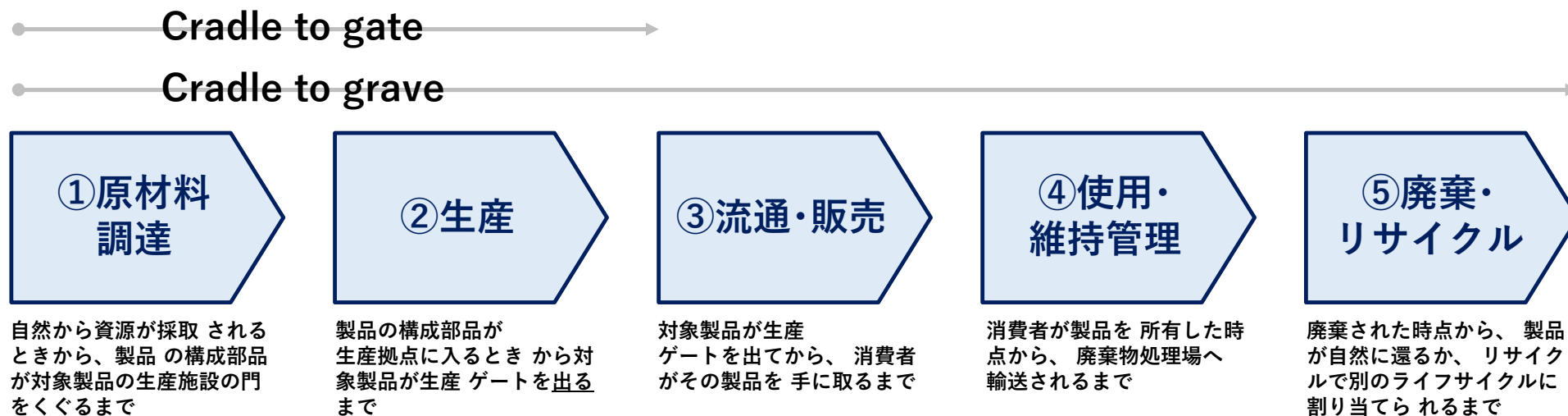
温室効果ガスの排出量だけでなく、資源枯渇やオゾン層破壊、騒音などあらゆる環境負荷が対象



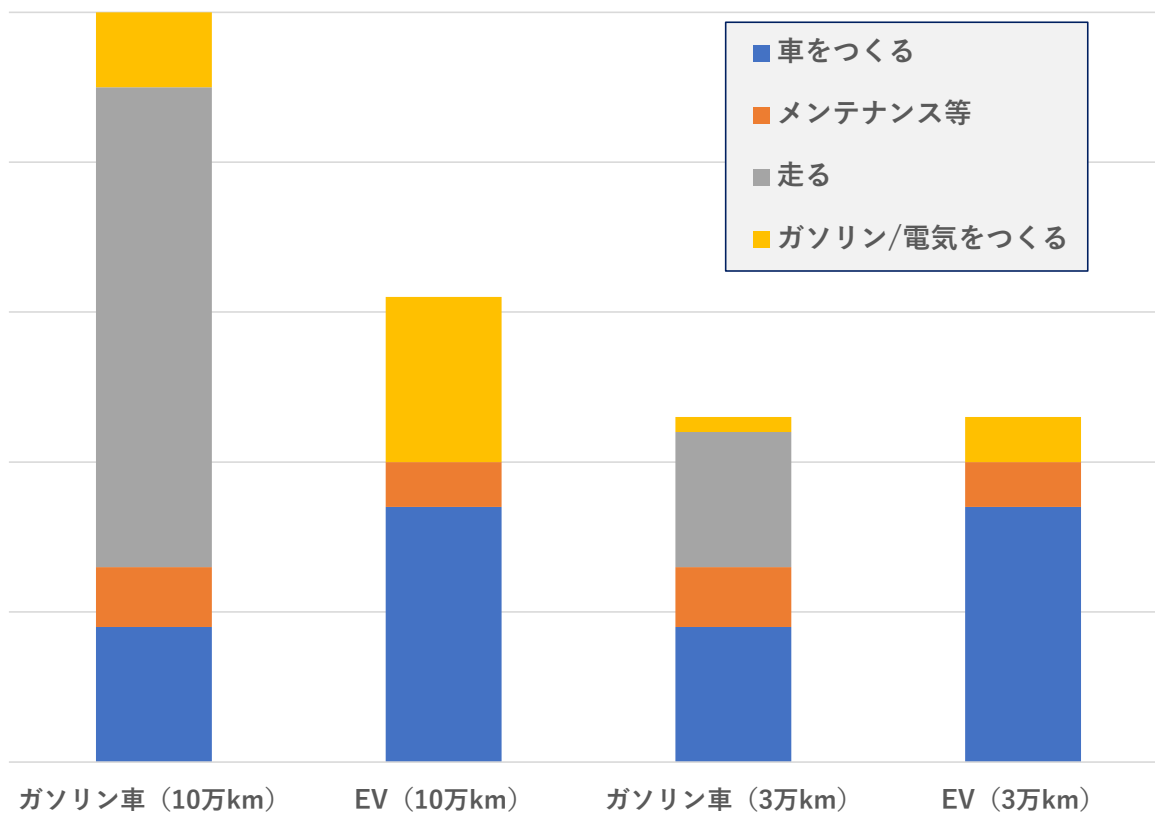
CFPとは？

CFPとは、Carbon Footprint of Product の略

製品やサービスが生産から廃棄に至るまでの全ライフサイクルにわたって
排出するGHG（温室効果ガス）の総量を示す指標



CFPがわかると…



<企業目線>

- ・どこを頑張れば効果的か？
- ・どこに無駄が多いか？
- ・設備投資はどこから行うのが効率的か？
- ・より良い取引先・調達物品を選ぶには？

→サステナブルなモノづくりができる

<生活者目線>

- ・自分ができることはないか？
- ・どんな使い方をすればエコなのか？
- ・どんなものは環境への影響が低いのか？
- ・自分はどのくらい出しているのか？

→知ることから自らの行動を考えることができる

CFP算出方法

$$\text{CFP} = \Sigma (\text{活動量}i \times \text{排出係数}i)$$

活動量 : マテリアルやエネルギーの投入量

排出係数 : 単位活動量あたりのGHG排出量

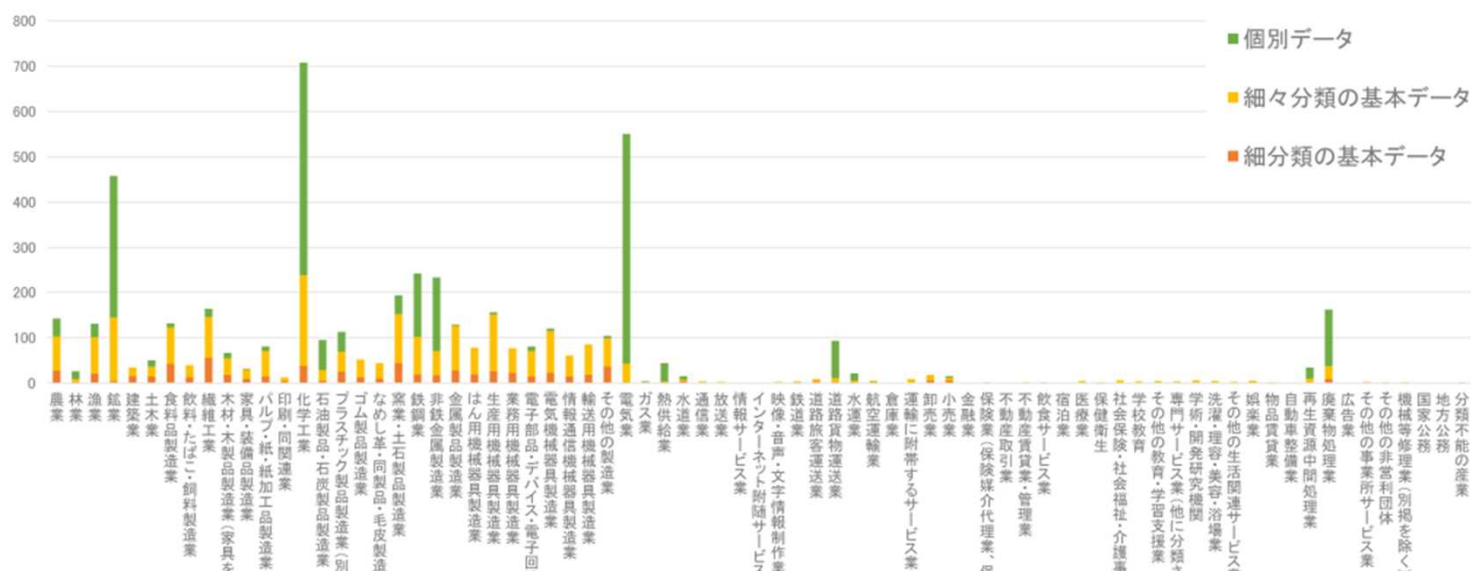
排出係数の考え方

- ・ 自社の所有又は管理下にあるプロセスの活動量については、原則として全て1次データを収集しなければならない。
- ・ 原材料や素材の排出係数は、自社の上流のサプライヤから得られる1次データを活用することが望ましい。
- ・ 原材料や素材の排出係数について、1次データの取得が難しい場合は、IDEA（産業技術総合研究所によって開発された2次データベース）等の2次データを活用してもよい。

LCI（ライフサイクルインベントリ）データベース IDEAとは

IDEA Ver. 3.3は、約5,000種類の農・林・水産物、工業製品等の日本の全ての製品・サービスを対象とした環境負荷物質（CO₂をはじめ、NO_x、SO_x、PM_{2.5}、ヒ素、カドミウム、クロム、鉛などの化学物質の排出、鉄や銅などの資源消費）を定量可能な網羅性のあるデータベース。

IDEAに格納されている単位プロセスデータ数



CFPを実際に算出するには…

- ・ 自社内にLCAを理解したエキスパートを育成
→ LCAエキスパートクラブ幹事として支援可能
- ・ 信頼できる外部機関に算出を依頼すること
→ Earth hacksのLCAエキスパートとして支援可能

デカボスコア 作成例

サービス概要

デカボスコア： **デカボスコア**

商品/サービスのCO2排出量を削減率(%off)で
可視化するスコア

デカボとは：

脱炭素を意味するDecarbonizationから造った造語
お客さまの親しみやすや口ずさみやすさを重視

算出根拠：

ISO14040/14044（第三者機関によるReview付）

利用企業/商品：

250社超、950アイテム超にて採用

主なデカボなポイント例

- 再生可能エネルギー利用（太陽光、バイオマス等）
- 【製品】 再生材の利用
- 【製品】 パッケージの軽量化/紙使用
- 【食品】 地産地消
- 【食品】 動物性材料→植物性材料へ置換え
- 【畜産】 国産飼料のみで生育
- 【農作物】 農薬使用量の削減
- 【農作物】 化学肥料使用の削減
- 【米】 中干期間の延長



大日本印刷株式会社

DNPリサイクルPETボトル

この製品1つあたりの
原材料調達～廃棄工程におけるCO2削減量

19.1 gCO2e

石油由来のPET樹脂からつくったプリフォー
ム

56.7 gCO2e



リサイクルPET樹脂からつくったプリフォー
ム

37.6 gCO2e



計測ツール：DNPライフサイクルCO2認証システム 計測月：2024/03

※算定はプリフォーム（写真左、ボトル型に膨らませる前の部材）で実施
しています

[購入はこちら](#)

[導入商品一覧へ戻る](#)



無印良品

竹100%ティッシュペーパー

この製品 1つあたりの
製造工程におけるCO2削減量

194 gCO2e

パルプの原材料に木材を100%使用し、
通常の漂白を行い製造した
ティッシュペーパー

888 gCO2e



パルプの原材料に竹を100%使用し、
漂白をせず製造した
ティッシュペーパー

694 gCO2e



計測ツール：LCA Plus 計測月：202311

[導入商品一覧へ戻る](#)



大阪渋谷麦酒

河内乃えーる ピルスナー

この製品1つあたりの原材料の調達から廃棄までの工程におけるCO2削減量

198 gCO2e

日本各地で生産されるクラフトビールを、一般的なビール瓶を用いて輸送し大阪で消費する場合のクラフトビール1本(330ml)

528 gCO2e



香り付けに温州みかんの皮を利用し、軽量瓶の利用と大阪での地産地消により輸送の環境負荷を減らした「河内乃えーる ピルスナー」1本(330ml)

330 gCO2e

デカボスコア
37%
off
by Earth hacks 2023.11

計測ツール：Myエコものさし 計測月：2023/11

購入はこちら

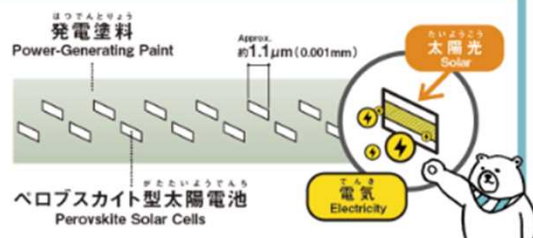
[導入商品一覧へ戻る](#)

発電する塗料

Power-Generating Paint

次世代太陽電池「ペロブスカイト型太陽電池」を含んだ塗料で太陽光を電気に変える

This paint incorporates next-generation solar cells, known as "perovskite solar cells," to convert sunlight into electricity.



未来塗料ってなに？

みらいとりょう

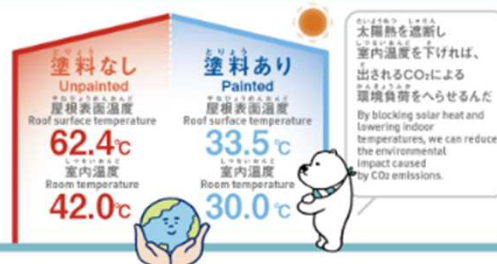
What is Future Paint?

遮熱・断熱する塗料

Heat-shielding and Insulating Paint

この塗料で地球の1~2%の面積を塗るだけで地球温暖化対策に効果があります

By applying this paint to just 1-2% of Earth's surface, it can serve as an effective measure against global warming.



真夏日に戸建ての室内を25度に調整した場合のCO2削減量

Before

普通の家庭用太陽光発電施設付き戸建ての室内を25度に調整した場合の1時間当たりのCO2排出量

① GHG排出量 3.20 kg-CO₂eq

After

遮熱効果付き塗料型太陽光発電施設付き戸建ての室内を25度に調整した場合の1時間当たりCO2排出量

② GHG排出量 0.35 kg-CO₂eq

Change

③ ①-② 削減貢献量 2.85 kg-CO₂eq

④ 100%-②÷① 削減貢献率： 89 %



株式会社東急ストア

手紙のついた野菜 でかっこりー

ブロッコリー100gあたりの原材料の調達から廃棄までの工程におけるCO2削減量

4 gCO2e

平均的な栽培条件で生産された徳島県産のブロッコリー100g(可食部ベース)

60 gCO2e



有機率6割の肥料を活用して栽培した徳島県産「でかっこりー」100g(可食部ベース)

56.2 gCO2e



計測ツール/参照データ：Myエコものさし 計測月：2024/09

[導入商品一覧へ戻る](#)



株式会社ビオスタイル

Hyssop/ファーマーズパイ

この製品 1 つあたりの
製造工程におけるCO2削減量

0.56 kgCO2e

バター・クリーム等の
動物性原材料を用いて
作られた、白あん・いちじく入りのパイ

1.41 kgCO2e



動物性原料の代わりにプラントベース素材を
用い、製造工程の電気に再
生可能エネルギーを利用して作られたファ
ーマーズパイ

0.85 kgCO2e

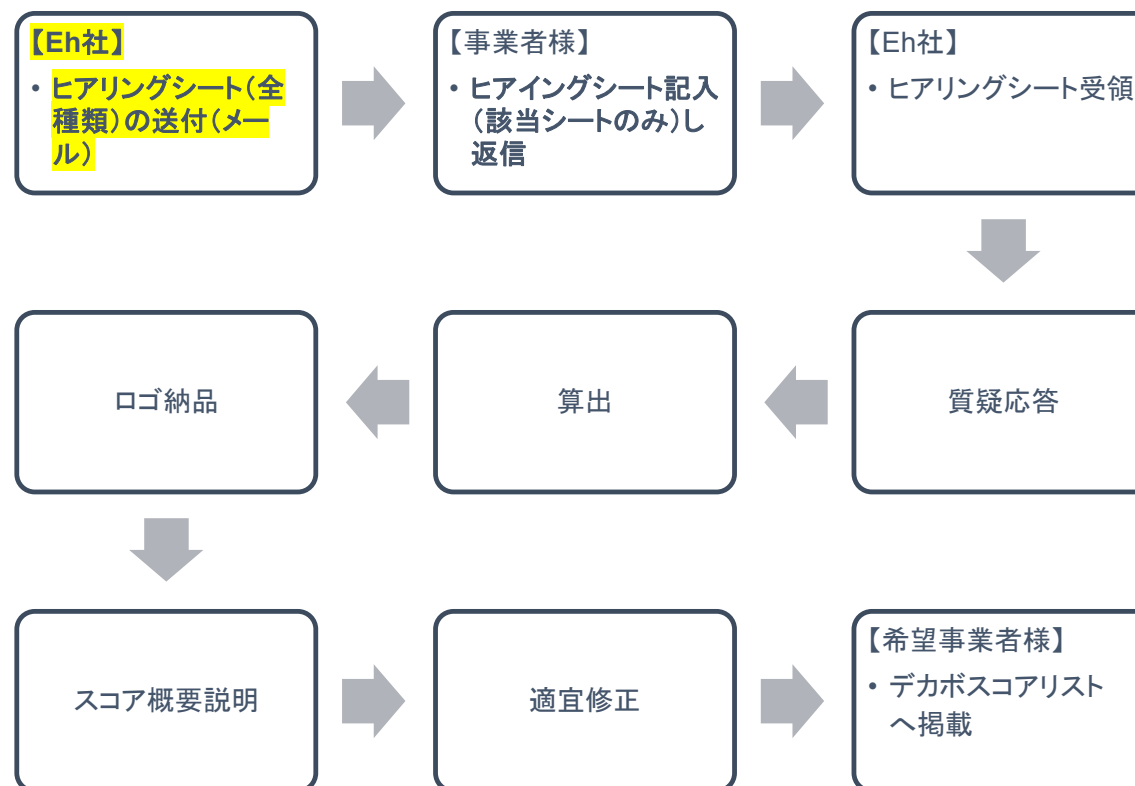


計測ツール/参照データ：IDEA Ver.3.4 計測月：2024/12

[詳細はこちら](#)

[導入商品一覧へ戻る](#)

デカボスコア算出の流れ



【製品/パッケージ】ヒアリングのポイント

【製品について】

- ① 商品名・製品画像
- ② 1つ当たりの総重量
- ③ 製品の各材料と重量/調達地と輸送方法
- ④ 加工の工程/加工地と再エネの利用有無
- ⑤ 工夫のポイント

①	商品名	三井物産ペットボトル
②	サイズ(複数サイズがある場合)	500mlペットボトル
	製品総重量(g)	N/A
	製品総重量(g)	56.8
	製品カテゴリ	家具・家電用品
	商品画像リンク	

④	最終組立(加工)工場所在地	神奈川県横浜市
	加工場の再エネの利用有無	○
⑤	再エネの使用割合(%)	80%
	再エネの種類	太陽光発電
	最終集荷拠点	群馬県高崎市
	上記2地点間の輸送	トラック

3 材関連質問

	素材が使われている部品名	素材カテゴリ(布など)	詳細素材カテゴリ(綿など)	重量(g)	調達地	次の加工地・ない場合は最終加工工場での輸送手段
素材1	ラベル	プラスチック	LDPE	2.8	中国広東省	船舶
素材2	キャップ	プラスチック	PP	3.2	栃木県	トラック
素材3	キャップ本体連結部分	プラスチック	LDPE	0.8	大阪府箕面市	大型トラック
素材4	本体	プラスチック	PET	30	タイ	船舶(貨物船)
素材5	本体	プラスチック	リサイクルPET	20	群馬県太田市新保2-1-2	大型トラック
素材6						

④	素材番号	1
	加工プロセス1	射出成型
	加工プロセス1場所	埼玉県上尾市
	上記工場の再エネの利用有無	×
	再エネの使用割合(%)	
	再エネの種類	
	次の加工地点までの輸送	大型トラック
	加工プロセス2	ブロー
	加工プロセス2場所	茨城県ひたちなか市
	上記工場の再エネの利用有無	×
	再エネの使用割合(%)	
	再エネの種類	
	次の加工地点までの輸送	大型トラック
	加工プロセス3	
	加工プロセス3場所	
	上記工場の再エネの利用有無	
	再エネの使用割合(%)	
	再エネの種類	
	次の加工地点までの輸送	
	加工プロセス4	
	加工プロセス4場所	
	上記工場の再エネの利用有無	
	再エネの使用割合(%)	
	再エネの種類	
	次の加工地点までの輸送	

④	素材番号	2
	加工プロセス1	射出成型
	加工プロセス1場所	群馬県前橋市元総社町
	上記工場の再エネの利用有無	○
⑤	再エネの使用割合(%)	80%
	再エネの種類	太陽光発電
	次の加工地点までの輸送	中型トラック
	加工プロセス2	
	加工プロセス2場所	
	上記工場の再エネの利用有無	
	再エネの使用割合(%)	
	再エネの種類	
	次の加工地点までの輸送	
	加工プロセス3	
	加工プロセス3場所	
	上記工場の再エネの利用有無	
	再エネの使用割合(%)	
	再エネの種類	
	次の加工地点までの輸送	
	加工プロセス4	
	加工プロセス4場所	
	上記工場の再エネの利用有無	
	再エネの使用割合(%)	
	再エネの種類	
	次の加工地点までの輸送	

【製品/パッケージ】ヒアリングのポイント

【製品について】

- ① 商品名・製品画像
- ② 1つ当たりの総重量
- ③ 製品の各材料と重量/調達地と輸送方法
- ④ 加工の工程/加工地と再エネの利用有無
- ⑤ 工夫のポイント

ヒアリング 例(※架空商品)

- ① 「三井物産ペットボトル」
- ② 製品総重量：13g
- ③ 材料：再生PET 11g、HDPE2g、ラベルレス
- ④ 【加工工程】
 ボトル：ブロー成形
 キャップ：射出成形
- ⑤ 【工夫】
 軽量化
 再生PET利用・ラベルレス
 太陽光発電利用（80%）



【加工食品】ヒアリングのポイント

【加工食品について】

- ① 商品名・製品画像・商品1つ当たりの重量
- ② 1ロットで何個の商品が出来るか
- ③ 原材料の重量（1ロットあたり投入量）と産地
- ④ 加工の工程と機材の情報
（1ロット加工時の各機材の定格電力と稼働時間）
- ⑤ パッケージの素材と重量（購入元の所在地）
- ⑥ 工夫のポイント

再生可能エネルギー利用
地産商品
パッケージに再生材利用/軽量化
植物性材料へ置換え
国産飼料で育てた肉
廃棄物の再利用 etc

貴社商品

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

商品名：

下記材料を使用してできあがる分量：例）・1袋あたり100g×100袋 ・50人前

販売単位・計測希望単位：例）・50g/1袋 ×6袋=1箱 ・1人前

製品製造工場の場所：

製品URL：

3 原材料生産/輸送工程					
原材料 (一次産品か加工品か お選びください。)	使用量 (可食部 重量)	単位 (単位)	産地 (加工品の場合 はその加工地)	加工品の場合 各成分の原産地・% ※食品規格書のご提出でも構いません	原材料/輸送に関する 環境負荷面でのこだわり
例 一次産品 ジャガイモ	500	g	北海道（国内の場合は都道府県）	—	産地産
例 加工品 パスタ	1000	g	イタリア	小麦：イタリア 100%	産地産
例 加工品 トマトソース	500	g	神奈川県	食品規格書添付	食品規格書添付

4 加工/調理工程		
工程内容	加工機器 (詳細は後続記入)	加工/調理に関する 環境負荷面でのこだわり
例 例) ジャガイモを加熱	ガスコンロ	下処理により、10分の加熱工程
加工調理1		

加工/調理工程における使用機器詳細							
機材名称	対象調理工程番号	対象工程名	定格電力	単位	使用時間	単位	左記使用時間で(単位)
例) ミキサー	加工調理2	混ぜ	5	kW	15	分	500g
電気源 (機械系)							
例) ガスコンロ	加工調理1	加熱	20	kW	10	分	500g

5 包装(販売工程)の工夫						
原材料	使用量 (可食部 重量)	単位 (単位)	産地 (加工品の場合 はその加工地)	加工地	販売地	販売(包装)に関する 環境負荷面でのこだわり
例 紙容器	20	g	東京	東京	東京	再生紙100%使用(FSC認証)
包装1						
包装2						
包装3						

6 廃棄工程の工夫	
例	・出汁に使用した乾物は別商品のふりかけとして利用 ・通常廃棄していたキャベツの芯まで利用して調理
廃棄1	
廃棄2	
廃棄3	

【加工食品】ヒアリングのポイント

【加工食品について】

- ① 商品名・製品画像・商品1つ当たりの重量
- ② 1ロットで何個の商品が出来るか
- ③ 原材料の重量（1ロットあたり投入量）と産地
- ④ 加工の工程と機材の情報
（1ロット加工時の各機材の定格電力と稼働時間）
- ⑤ パッケージの素材と重量（購入元の所在地）
- ⑥ 工夫のポイント

再生可能エネルギー利用
地産商品
パッケージに再生材利用/軽量化
植物性材料へ置換え
国産飼料で育てた肉
廃棄物の再利用 etc

ヒアリング 例（※架空商品）

- ① 「物産まんじゅう」 一本120g（一本4個）
- ② 1ロット2000個
- ③ 小麦粉30kg、米麴3kg、上白糖6kg、味噌4kg、植物油1.5kg、水15kg、串500本
- ④ ミキサー2.0kw1.5h→発酵庫1.0kw2h→成形（まるめ機）0.8kw1.0h→蒸し器4kw1.5h→焼成（グリル）5.0kw1.5h
- ⑤ PP系フィルム4.0g
- ⑥ 国産小麦・竹串使用、軽量化包装（もともと5g）太陽光発電100%利用



【農作物】ヒアリングのポイント

【農作物について】

- ① 作物（商品名）・栽培方法（露地or施設）産地
- ② 作付面積と出荷量、商品1つあたり重量
- ③ 育成工程の情報（工夫のポイントは選択式）
ex.農薬使用量・肥料使用量・燃料使用量
- ④ 残渣の取扱い・緑肥/バイオ炭の使用有無

1. 基本情報				
①	(商品名)			
	法（露地 or 施設）			
	産地（都道府県単位）			
	主な販売先・消費地（都道府県単位）			
	作付面積（延べ、年間）		a (アール)	
	開墾年（土地利用用途の変更を最後に行った年）		年	
	上記の変更の前の土地利用用途			
	出荷量（年間）		kg	
	商品1つあたりの重量（概算値）		g	
	販売単位の重量（固定の販売単位がある場合）		g	
2. 生産加工に関するデータ入力				
3	記入データ種類を選択 (下記セル内、プルダウンより選択ください)	「い」選択時のみ入力 使用量を直接データ入力 ※H列の単位にご注意ください	「う」選択時のみ入力 御社の工夫がない場合からの削減率 ※10%単位の記入で構いません	「い」「う」「え」選択時のみ入力 環境負荷低減の工夫の内容 ※例）有機栽培、減農薬/減化学肥料 農法など
農薬使用量				
殺虫剤	あ：標準値（使用しており、特に環境負荷低減の工夫はない）	kg/上記の作付面積	%削減	
殺菌剤	い：直接データ入力（手元の使用量データも記入）	kg/上記の作付面積	%削減	
除草剤	う：直接データ入力（工夫がない場合からの削減率で記入）	kg/上記の作付面積	%削減	
その他農薬（名称記載ください）	え：ゼロ（使用していない）	kg/上記の作付面積	%削減	
肥料使用量				
窒素肥料（N成分量）	あ：標準値（使用しており、特に環境負荷低減の工夫はない）	kg/上記の作付面積	%削減	
リン肥料（P成分量）	い：直接データ入力（手元の使用量データも記入）	kg/上記の作付面積	%削減	
カリ肥料（K成分量）	う：直接データ入力（工夫がない場合からの削減率で記入）	kg/上記の作付面積	%削減	
たい肥・有機質肥料（肥料由来をK列に記載）	え：ゼロ（使用していない）	kg/上記の作付面積	%削減	
その他肥料（名称記載ください）	え：ゼロ（使用していない）	kg/上記の作付面積	%削減	
プラスチック等資材				
農業用塩化ビニルフィルム	あ：標準値（使用しており、特に環境負荷低減の工夫はない）	kg/上記の作付面積	%削減	
その他プラスチック類	い：直接データ入力（手元の使用量データも記入）	kg/上記の作付面積	%削減	
段ボール	う：直接データ入力（工夫がない場合からの削減率で記入）	kg/上記の作付面積	%削減	
その他資材（名称記載ください）	え：ゼロ（使用していない）	kg/上記の作付面積	%削減	
燃料・電力使用量				
ガソリン	あ：標準値（使用しており、特に環境負荷低減の工夫はない）	L/上記の作付面積	%削減	
軽油	い：直接データ入力（手元の使用量データも記入）	L/上記の作付面積	%削減	
灯油	う：直接データ入力（工夫がない場合からの削減率で記入）	L/上記の作付面積	%削減	
A重油	え：ゼロ（使用していない）	L/上記の作付面積	%削減	
LPG	え：ゼロ（使用していない）	kg/上記の作付面積	%削減	
バイオマス燃料	え：ゼロ（使用していない）	kg/上記の作付面積	%削減	
その他燃料（名称記載ください）	え：ゼロ（使用していない）	L/上記の作付面積	%削減	
都市ガス	え：ゼロ（使用していない）	m3/上記の作付面積	%削減	
系統電力	え：ゼロ（使用していない）	kWh/上記の作付面積	%削減	

【農作物】ヒアリングのポイント

【農作物について】

- ① 作物（商品名）・栽培方法（露地or施設）産地
- ② 作付面積と出荷量、商品1つあたり重量
- ③ 育成工程の情報（工夫のポイントは選択式）
ex.農薬使用量・肥料使用量・燃料使用量
- ④ 残渣の取扱い・緑肥/バイオ炭の使用有無

ヒアリング 例（※架空商品）

- ① 「やさし葉キャベツ」・露地栽培（孺恋村）
- ② 10ha、200t（約30万玉）1玉660g
- ③ 減農薬（慣行比で-40%）化学肥料（窒素成分）は不使用、有機肥料のみ使用。燃料の工夫なし。
- ④ 残渣：すき込み、緑肥：レンゲ
バイオ炭：木材由来800kg/10a



【デカボスコア算出方法について(製品編)】

1. デカボスコアとは

デカボスコア

46

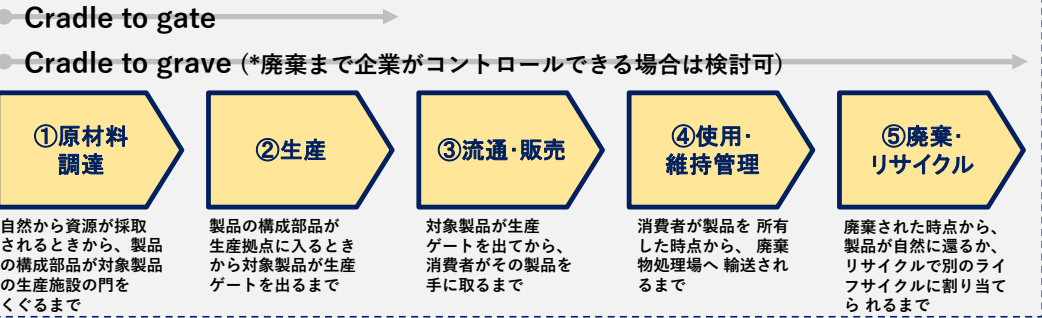
Off

デカボスコア =
$$\frac{\text{比較対象製品の*CFP} - \text{対象製品のCFP}}{\text{比較対象製品のCFP}} \times 100$$

*CFP(カーボンフットプリント)とはサプライチェーン上におけるCO2排出量を算定したもの

2. CFP算定範囲

製品のライフサイクルを5つの工程に分けた場合、①～②と①～⑤の2種類の算定範囲がISO14040/ISO14044に定義されており、どちらも選択可能。
製品のデカボスコアでは原則①～②を使用(企業がコントロール可能な範囲である為)



3. CFP計算式

$$CFP = \sum (\text{活動量}i \times \text{CO2排出係数}i)$$

活動量：素材の使用料や輸送量など
CO2排出係数：素材1キロ当たりなどのCO2排出量

活動量は企業様から情報を収集
CO2排出原係数は、ISO14040/ISO14044に基づいたData Baseあり。
代表的なData BaseはEcoinventとIDEAの2種類で優劣は無い。
尚、Data Baseは年次更新される

4. CFP計算機

デカボスコア算出の為のCFP計算は、前項記載のData Baseとリンクしたシステム上の計算機を使用。

5. デカボスコア算出の流れ

No.	手順	企業様	Eh	コンサル
1	対象製品/比較対象*の選定	○	○	
2	対象製品のCFP算定可否確認		○	○
3	算定に必要な情報収集 (Format)	○	○	
4	(あれば)特殊素材等の計算機への追加		○	○
5	計算機への情報入力		○	
6	SuMPO 社による内容Review		○	○
7	Reviewに伴う内容確認/質疑応答	○	○	○
8	CFP結果・デカボスコアご提供**		○	

*比較対象については、対象商品に於いて為された脱炭素性能に配慮された工夫を行っていない状態の製品を想定し比較。その比較対象の選定並びに計算結果はコンサルがReview。
但し、原材料に於ける工夫が輸送や生産等に影響を及ぼすものなどは、その変化も反映。
**CFP算出に必要な排出原単位Data Baseは毎年更新される為、デカボスコアも毎年更新する必要あり

6. デカボスコアの生活者からの見え方

商品購入時

デカボスコア

15

Off

商品貼付
(スコアのみ可)
POP等
(スコア+説明)
※店頭に於いてもできる限り説明を付記すること推奨

検索時 (Earth hacks Web Site内)

デカボスコア

15

Off

以下の情報にアクセス可
・デカボスコア
・前後のCO2排出量絶対値
・環境に配慮した工夫の内容
・計算月
・使用した計算機
・計算範囲

検索時 (企業様Web Site内)

デカボスコアを掲載する際は、Earth hacks Web Site内と同等の情報粒度を推奨(Wash批判防止)。

デ カ ボ

脱炭素を価値に。

生活者がどれだけ脱炭素ライフをおくりたくても、適した商品・サービスがなければ実現できない。

企業がいくら脱炭素を推進しても、生活者がそれを魅力に思わなければ、経済はまわらない。

わたしたち『Earth hacks & Co.』は、生活者のアクションと、企業の努力をつなぎ、

「脱炭素化した方が商品が売れる。商品が売れるから脱炭素化が進む。」好循環を生み出し、

持続可能な社会を実現するデカボ・サイクル・カンパニーです。

 **Earth hacks & Co.**